**海面上昇、最大5メートル＝温暖化で2300年までに－IPCC報告書**

9/25(水) 18:36配信



　国連の気候変動に関する政府間パネル（IPCC）は25日、地球温暖化が海面上昇や海洋生態系に与える影響などに関する特別報告書をまとめ、公表した。
　温暖化がこのままのペースで進むと、南極の氷床などが解けて2300年までに海面が最大5．4メートル上昇する可能性を指摘。今世紀末までに世界全体の漁獲量が最大24．1％減少すると予測した。
　報告書によると、2006年から15年までの間に、南極の氷床が解けたことで毎年0．43ミリメートル、グリーンランドの氷床が解けた影響によっても毎年0．77ミリ海面が上昇した。こうした状況が続けば、1986年から05年までの平均と比べ、2100年に最大1．1メートル、2300年までに最大5．4メートルの上昇につながる恐れがあるとした。

　海面が上がると、土地が低い島しょ国では住む場所を奪われることになる。日本でも東京や名古屋、大阪の海抜ゼロメートル地帯が拡大して水害のリスクが高まるなど、甚大な影響が予想される